

No.	質問内容	回答
1	市が定めていく構想策定作業と、本研究会の関係はどういった関係になりますでしょうか（構想発表の場）。	本研究会は、本市の抱える課題を解決できるテクノロジーの導入の可能性の検討の場として考えており、ここでの議論を踏まえ構想を策定します。
2	比留間部長から最後に口頭で説明いただいた、今後のスケジュールに関する資料はどちらにありますでしょうか。	本日の研究会終了後に事務局からメールにて共有します。
3	財源については、どのようにお考えですか。	研究会での議論を経て、具体的なテクノロジーを活用した施策が見えてきた時点で、国の補助金等も活用しながら予算措置をしていきたいと考えています。
4	スマートシティのご説明を頂きましたが、内閣府にて公募予定のスーパーシティに応募される予定はございますか。もし予定されている場合、テーマ等ご紹介頂ければと思います。	スーパーシティについては、国の公募の方針がはっきりしていないため、現時点では判断できませんが、本市のスマートシティの構築に資するものであれば、積極的に参加していきたいと考えています。
5	構想の策定後、実装はどのようなスケジュールを考えていますか。	実装できるものから順次取組んでいく予定です。
6	ブラウンフィールド（旧鎌倉）→グリーンフィールド（深沢）という流れですが、それぞれのタイムスケジュール（いつごろの実装を目指すか）をご教示ください。	まずは、課題が顕在化しているブラウンフィールドで、課題解決に向けた実験を行い、実装できるものは実装に移していきます直近では、交通不便地域において、オンデマンドを活用した移動の実験を予定しています。また、ブラウンフィールドで得られたノウハウをグリーンフィールドのまちづくりに活用するとともに、グリーンフィールドのまちづくりの過程で得た知見をブラウンフィールドで活用するという関係になります。なお、深沢は区画整理をこれから予定しているので、基盤整備はやや先のスケジュールになるものと考えています。
7	スマートシティの実証に向けて、深沢地区での実証展開が重要かと思いますが、深沢地区等、グリーンフィールドでのAIデマンドバスや自動運転や、住民参加MaaS等、新しい公共交通の取組は検討されていますでしょうか。	深沢地区での実証実験について、現時点で確定しているものではありません。ただし、ブラウンフィールドでは、先程ご紹介したとおり交通不便地域における実証実験を、先行して実施していく予定です。
8	子供の教育、特に義務教育のIT化の計画についてお教えてください。また子供の貧困問題は重要な課題と思いますが、この点についてもお教えてください。	子どもの教育に関しては、「GIGAスクール構想」がありますが、コロナ禍により少し前倒しして実施をスタートしているところです。また、教育については市長部局とは別となりますが、行政のDX化という面で市長部局と教育局とで連携を図りながら、他の自治体にも誇れるような鎌倉の教育というのを教育部と一緒に創っていけたらと考えています。
9	ご説明ありがとうございます。質問ではなく意見です。ともすればスマート化が目化する事が多い中、目指すべき都市像の実現に向けてスマート化を手段として捉えるスマートシティへのアプローチは大変良いと思います。	ありがとうございます。あくまでも手段だということを忘れずに、目的と手段を正確に取り組んでいきたいと考えています。
10	若年層との合意形成における課題についてお考えをお聞かせいただけますでしょうか。	従来の広報ツール、合意形成ツールというものなかなか通用しない中で、新たな取組として、例えばYoutubeを使った広報などにもチャレンジしていきたいと考えています。幸い、鎌倉にはカマコンと言われる若い人たちのコミュニティが活性化しているので、こういったコミュニティとも連携しながら、若い人たちの合意形成、また地域に入ってコミットしていただけるような人たちを増やしていきたいと考えています。
11	高齢化の課題について コミュニティ以内の自由な交通手段を提供することが重要と考えますが、現交通政策は観光対策が主の様に見えますが、今後どのような展開をされて行かれますでしょうか。	特に観光や観光対策が主というわけではなく、市民の方々の移動、外出の支援というのが非常に重要だと考えています。ただ、これらの実施に対して、市が永久に補助金を出し続けることはできないので、例えば、観光客の方々に使ってもらい財源を捻出することや、福祉との連携などの組み合わせを考えながら自走できる仕組みを考えて行く必要があります。
12	地域コミュニティの強化が重要な課題と認識します。地域側から見ると、市の複数の窓口の一層の連携が必要であろうかと思われます。改善の方向性は如何でしょうか。	ご指摘の通りだと考えます。既に、市役所の中に、スマートシティを検討する部長級で組織している委員会を立ち上げています。そこでしっかりと議論をして、全庁的に同じ方向を向いて、窓口や手続きのデジタル化などに取り組んでいきたいと考えています。これには、様々なソリューションがあると思いますので、皆様からご提案をいただきながら検討を進めていきたいと考えています。
13	鎌倉市民の方々のスマートシティに対する関心度や賛否についてお伺いします。市民との連携を行うとのことでしたが、これまで市民に対してスマートシティに対する方針を説明されたことはあるのでしょうかその際、どのような反応がありましたでしょうか。	これまで具体的に説明をおこなったことはありません。ただ、今年の1月に、本市の都市政策専門委員になっていただいている建築家の隈研吾先生や学識者の方々と、データを使ったまちづくりについてシンポジウムを開催しました。その他、「リビングラボ」という活動のほか、通常の行政行為において、積極的にデジタルを活用し、親しんでいただけるような取組を少しずつ実施し、デジタルやスマートシティに馴染んでいただくというよう配慮しています。
14	鎌倉市様のスマート化について、個別提案をさせて頂く枠組みはございますでしょうか。	大変ありがたいお話ですが、今回の研究会にも100社近くのご参加をいただいておりますので、各社個別となると、人員的、時間的な制約もある中では、対応までに大変お時間がかかってしまう可能性があることから、現時点では、個別のご提案はご遠慮いただきたいと考えており、体制が整った時点で改めてご案内させていただきたいと考えています。